

ニュース 教室

世界最大級 次世代燃料拠点

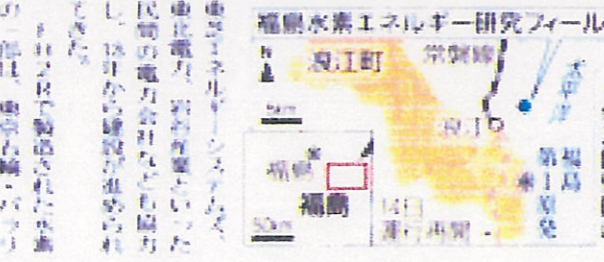
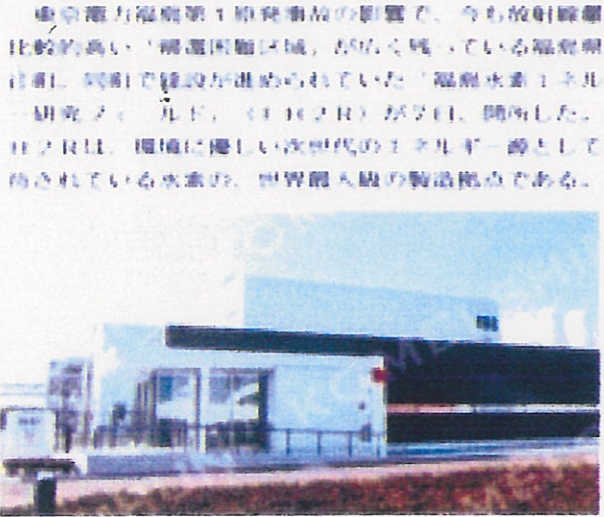
福島水素エネルギー研究フィールド

福島県は、2011年3月11日の東日本大震災以降、福島第一原子力発電所事故の影響で、今も放射線量が比較的高い「帰還困難区域」が広く残っている。福島県は、同時に建設が進められていた「福島水素エネルギー研究フィールド」(FLEET)が2日、開所した。FLEETは、環境に優しい次世代のエネルギー源として期待されている水素の、世界最大級の製造拠点である。

水素は燃焼して水になり、CO₂を排出しないクリーンなエネルギーである。FLEETでは、福島県産の電力を用いて水素を製造し、貯蔵できる施設となる。また、水素を燃焼させて発電する施設も設けられる。FLEETは、福島県産の電力を用いて水素を製造し、貯蔵できる施設となる。また、水素を燃焼させて発電する施設も設けられる。

製造量は年間900トン
浪江町に開所、五輪にも活用

福島県浪江町に建設が進められている「福島水素エネルギー研究フィールド」(FLEET)が2日、開所した。FLEETは、環境に優しい次世代のエネルギー源として期待されている水素の、世界最大級の製造拠点である。FLEETは、福島県産の電力を用いて水素を製造し、貯蔵できる施設となる。また、水素を燃焼させて発電する施設も設けられる。



資料 1

出典：3月15日付 公明新聞



CO₂を排出せず
再エネの普及促進にも貢献

日本では現在、使われているエネルギーの多くは、天然ガスや石油などの化石燃料を原料としている。FLEETでは、福島県産の電力を用いて水素を製造し、貯蔵できる施設となる。また、水素を燃焼させて発電する施設も設けられる。

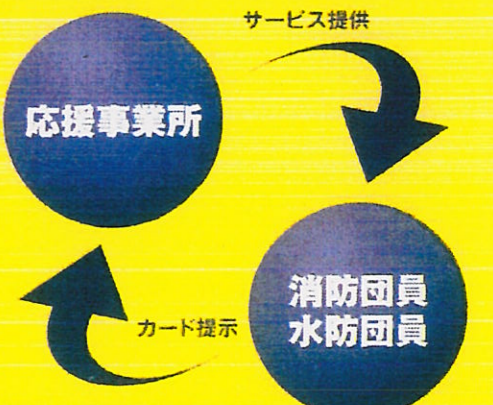
水素を発生させるという製造方法であるため、この再生可能エネルギー(再エネ)を用いた水素の製造は、「グリーン」なエネルギー源として注目されている。FLEETは、福島県産の電力を用いて水素を製造し、貯蔵できる施設となる。また、水素を燃焼させて発電する施設も設けられる。

ありがとね!

消防団 水防団 応援事業所制度

消防団員・水防団員を応援します!

「ありがとね! 消防団水防団応援事業所制度」とは、応援事業所として登録した店舗・企業が、岐阜県内の団員に対して、割引等のサービスの提供を行う制度です。登録店舗等において、飲食や買い物、施設利用等をした際に、団員が「岐阜県消防団員・水防団員カード」を提示することで、割引や特典等のサービスが受けられます。

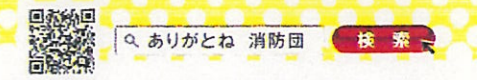


登録応援事業所表示証



「この表示証が目印!」
応援事業所として登録した店舗・企業の店頭には、「消防団水防団応援事業所表示証」(左記)が掲示されています。特典・応援サービスが受けられるお店の目印になりますので、特典・応援サービスを受ける場合は、必ず買い物やご飲食の前にカードを提示してください。

こんなお店が登録しています。
詳しくは下記QRコード・HPを参照してください。



消防団水防団応援事業所 募集中!!!!

- 岐阜県内で活動する消防団員・水防団員を応援していただける店舗・企業を募集しています。
- 応援事業所に登録すると...
- 「消防団、水防団を応援しているお店」として企業や店舗のPRになります。
 - 「地域防災力の要である消防団水防団の応援」を通じて、地域社会の貢献につながります。

詳しくは 岐阜県危機管理部消防課消防係まで TEL058-272-1122
岐阜県県土整備部河川課水政係まで TEL058-272-8585